



自彊日新

令和7年度(2025年度)2月号②
加賀市立片山津中学校 学校通信
文責 勝木 一弘 ②50

【学校教育目標】 「自律・協働・創造の意志を持って主体的に生きる生徒の育成」

文科省での片中の実践が報告されました！〔2月16日(月)〕

現在文科省では、2030年に出される次期学習指導要領の作成が進められています。その中心を担っている有識者を集めた中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会特別活動ワーキンググループにおいて、先行実践事例として報告されました。報告内容は、体育祭や文化祭で行った「少数意見を大切にしたいルール改正(ルールメイキング)」の取組です。

1. 学級・学校の合意形成において「多様な意見・価値観」を保障していくためには？

事例 学校の合意形成において「多様な意見・価値観」を保障するための 土台づくりを丁寧に進めた事例(中学校)

■事例③ オンラインアンケートを使って「体育祭」への本音を共有(加賀市立片山津中学校の学校行事の事例)

- 体育祭の在り方について全校アンケートを実施。アンケート結果の中では、「全員リレー」が最も人気のある種目である一方、体育祭での不安なことには「リレー・走ることに不安」が最も多く挙げられていた。
- 「走るの心配という人も含めて、全員が楽しめる全員リレーにするには？」という問いを立て、生徒会を中心に具体的な実施方法を検討。
- 生徒が発案した「100メートル走るか、50メートル走るかを生徒自身が選べるようにする(選択制)」「2人ずつ走る形式から4人で走る形式に変更することで、個人の差が目立たないようにする(走法の工夫)」などのアイデアをもとに、形を変えて全員リレーを実施する方向に(納得解の醸成)

▼実際のアンケート結果

①体育祭に向けて不安なことありませんか。(やりたくない種目やその理由、嫌だなどと思うことなど)	17
リレー・走ることに不安	7
帰部・安全上の不安	7
安全上の不安	6
実施場所(屋内・天候)	5
チームワーク・協力不安	5
服装・着替不安	3
観客・声援不安	3
観客の不安	2
人間関係・精神的ストレス	2
運動会参加への不安	1
その他	13
無回答・特になし	89

共有された感情:<不安・プレッシャー(反対・中立派)>
「走るの心配いからみんなに買ってもらいたくないから」
「ウソを言わしたと勘違い不安、抜かされたら文句言われない心配、走るのが苦手」
「選んだ人が買ってもらいたくないから、でも大丈夫か書いてくれたりするかもしれないから中立です」

共有された感情:<楽しさ・盛り上がり(賛成派)>
「体育祭と賞状がリレーだから」「みんなで協力して走るのは楽しいから」「リレーがないと体育祭じゃない」

●自己理解・自己表現: アンケートの記載を通じて、生徒ひとりひとりが学校行事に対する考えを深掘りし、意見やニーズを伝えることができた。
●他者理解・他者受容: アンケートの結果を通じて、全校生徒のなかでも多様な意見があることに気づいたり、少数派・反対派の背景にある思いや感情への理解が深まったことで、より多角的な視点から「納得解」を考えることができた。

2. 「対立や葛藤と向き合いながら、納得解を創造する」ために、必要な支援とは？

事例 生徒会活動・学校行事等における「教師の指導性」の発揮事例

■事例① 伝統的な校則・ルールの見直し(栃木県立足利清風高等学校)

- 多くの伝統的な校則・ルールが残っていた高校
- コロナ禍を経て、これまでほとんど変わらなかった校則の見直しに着手
- 「どうせ言っても変わらない」という認識の生徒が多かった

■事例② 誰もが楽しめる体育祭・合唱コンクールに向けた見直し(加賀市立片山津中学校)

- 体育祭では「全員リレー」が伝統となっていたが、一部の生徒から「つらい」「恥ずかしい」という声も。
- 歌が好きな生徒や帰属意識の高い生徒は、合唱コンの心理的負担が大きかった

教師の足場作り

- 参加の基盤づくり: 生徒指導部などの教師、生活委員会や有志生徒からなるルールメイキング委員会を立ち上げ、本音で対話できる環境づくり
- 学びへの動機づけの支援: まずは校内で合意が得られやすい校則(自動販売機の利用制限の撤廃)から取り組み、徐々に意見が割れやすい校則(フープロックや制服等)へ広げる形に
- 学びの産出の支援: 教員、保護者、地元企業、有識者へのヒアリング機会など、生徒自身が多角的に検討できる機会をつくる
- 実現性の支援: 教職員間でルールメイキング委員会での協議内容を定期的に共有、懸念が挙げられた点を踏まえて再度検討 等

学校・生徒の高度化

- 生徒の自信・参加意欲の高まり
- 生徒・教師との信頼関係構築
- 複数の校則見直し
- 教職員間での対話機会の増加
- 生徒・教員で協議可能な仕組みの設置(ルールメイキング委員会)
- 生徒総会の活性化 等

教師の足場作り

- 参加の基盤づくり: 「運動や歌が苦手で、学校行事に参加しづらい」という生徒の声や、不登校傾向の生徒の声を、オンラインアンケート等を使って拾い上げる
- 学びの動機づけの支援: 担当教員間で、まず生徒の声を受け止める、大人が先回りしすぎないことを意識し、生徒会・委員会の活動を支援
- 学びの産出の支援: 賛成派・反対派の意見をどちらも取り込んだ納得解をつくれるように、合意形成に向けて必要な観点を生徒と一緒に整理
- 実現性の支援: 学校行事のプログラム見直しの背景や目的について、管理職を中心に教職員・保護者等へ説明 等

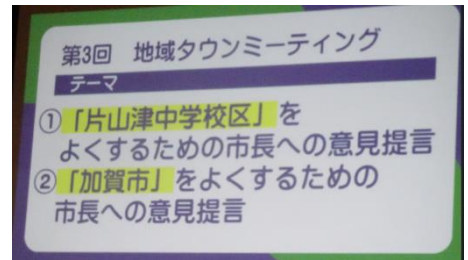
学校・生徒の高度化

- 生徒からのアイデアを活用し、行事のプログラムを大幅に刷新
- 不登校傾向だった生徒から「行事に参加できてよかった」という声が聞く
- 行事の苦手意識が強い生徒も参加可視
- 他の生徒から様々な声が届くように一日安宿・意見フォームの設置へ

タウンミーティング in 片中〔2月17日(火)〕



加賀市主催のタウンミーティングが本校講堂で実施されました。地域の方70名程が参加され「片山津中学校区をよくするには」「加賀市をよくするには」という内容で意見交換がなされました。



令和8年度前期生徒会役員決定〔2月18日(水)〕

来年度前期の生徒会役員が決定しました。生徒会長と図書委員長が選挙、他のポストは信任を問う形となりました。いよいよ現2年生が片中の中心となります。大変期待が高まります。講堂での立会演説会の後、投票は記名投票ではなく、PCを使っているオンライン投票で行われました。



役職	委員長名	クラス	役職	委員長名	クラス
生徒会長	O. N	2年1組	保健委員長	F. T	2年1組
生活委員長	T. K	2年2組	美化委員長	F. Y	2年1組
学習委員長	T. Y	2年1組	給食委員長	H. H	2年2組
体育委員長	I. I	2年1組	図書委員長	N. K	2年2組

租税教室開催〔2月19日（木）〕

北陸税理士会小松支部所属の瀬戸税理士さんにお越しいただいて租税教室が行われました。「私たちは、なぜ、税金を納めているの?」というテーマで税の種類や歴史、民主主義との関り等について詳しく学びました。ここで瀬戸さんが子どもたちに出したクイズにチャレンジしてみてください。【答えは表題の私の名前の横】



『日本の主な税金は何種類くらいあるでしょう?』①20 ②50 ③100

片中校区小学校3校合同見学会〔2月20日（金）〕

4月に入学予定の金明小・湖北小・片山津小の各6年生が一同に会して見学会を行いました。例年は、体育祭や文化祭を見学に来てくれていましたが、校舎内を見学して施設や授業の雰囲気を感じたいという希望もあり今年から合同見学会としました。初顔合わせも兼ねて3校混合の5人グループを作り「アドジャン（リレーション活動）」を実施したり、中学生から中学校生活を説明したりもしました。4月が楽しみです。



ご協力をお願いします！

生徒のスマホの学校での使用は禁止しています！

学校内でスマホにより撮影された暴力動画の投稿が社会問題となっています。これは片中でも起こりうる事案です。これまでも片中はスマホの校内での使用を絶対禁止にしています。下記のルールをご確認いただきご理解とご協力をお願いします。

〔現行ルールの確認〕

- ・原則スマホは持参しない。
- ・校地内でのスマホの使用は禁止。
- ・学校への送迎の連絡はスマホを使用しない。
(事前に下校時刻を家庭で打ち合わせるか公衆電話を使用する)
- ・保護者の許可のもと持参した場合は窓口に朝から下校時まで預ける。

